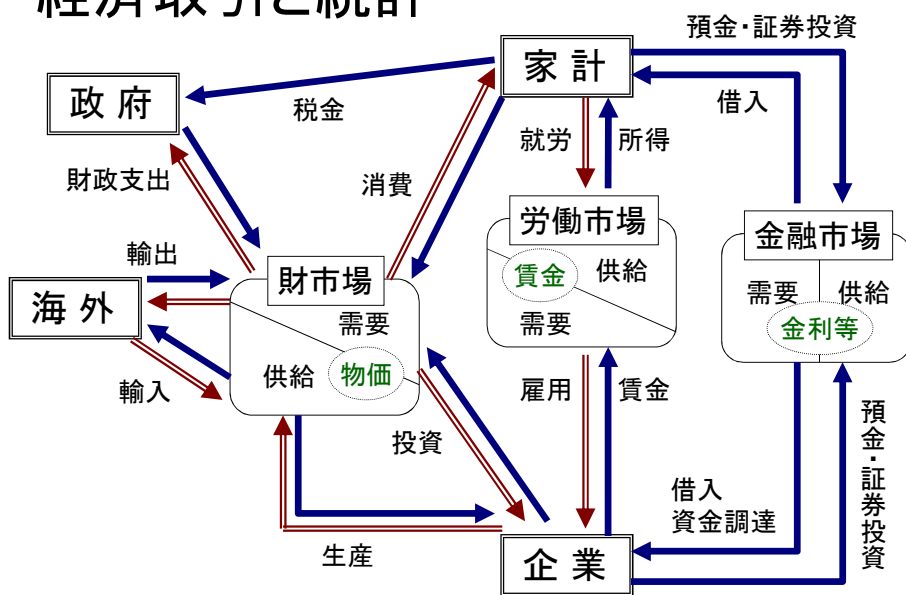


5. 経済統計の種類

経済統計分析
(2014年度春学期)

経済取引と統計



経済取引と統計

- 財市場関連統計
 - 消費関連統計: 家計調査(総務省)、業界統計(百貨店協会、チェーンストア協会等)等
 - 投資関連統計: 法人企業統計(財務省)、機械受注(内閣府)等
 - 生産関連統計: 鉱工業生産指数(経産省)、第三次産業活動指数(経産省)等
 - 物価関連統計: 消費者物価指数(総務省)、卸売物価指数(日銀)等
- 財政関連統計
 - 財政統計(財務省)、地方財政統計(総務省)等
- 貿易関連統計
 - 貿易統計(財務省)、国際収支統計(財務省・日銀)等
- 労働市場関連統計
 - 雇用関連統計: 労働力調査(総務省)、毎月勤労統計(厚労省)等
 - 賃金関連統計: 毎月勤労統計(厚労省)等
- 金融市場関連統計
 - 金融経済統計(日銀)等

3

統計の種類①

- マクロ・データとミクロ・データ
 - マクロ・データ …… 全国集計データ等
 - セミマクロ・データ …… 地域別データ、産業別データ等
 - ミクロ・データ …… 個々の家計別、企業別データ等
- 時系列データとクロスセクション・データ
 - 時系列データ: 年次、半期、四半期、月次、日次…
 - クロスセクション・データ: 1時点の都道府県別、産業別、企業別等
 - パネル・データ: 時系列×クロスセクションの組合せ
- フロー・データとストック・データ
 - フロー・データ = 一定期間内の取引量
 - スtock・データ = フローの蓄積

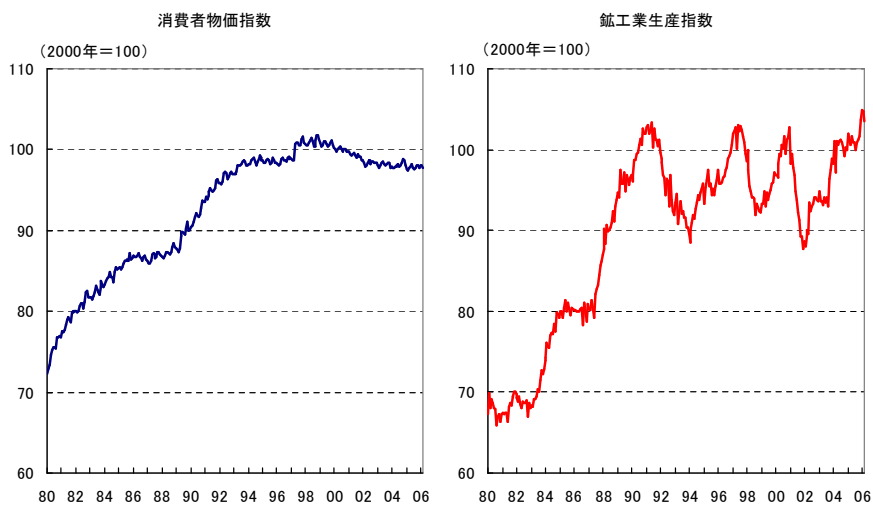
4

統計の種類②

- 実額データと指数データ
 - 指数データ: 基準時点の数値を100等に標準化
- 「量的」データと「質的」データ
 - 量的データ: 取引数量、金額、価格等
 - 質的データ(サーベイデータ): アンケートの回答(Yes/No、○段階評価等)
- サンプル調査と全数調査
 - (注) サンプル・バイアスの問題
- 一次統計と二次統計

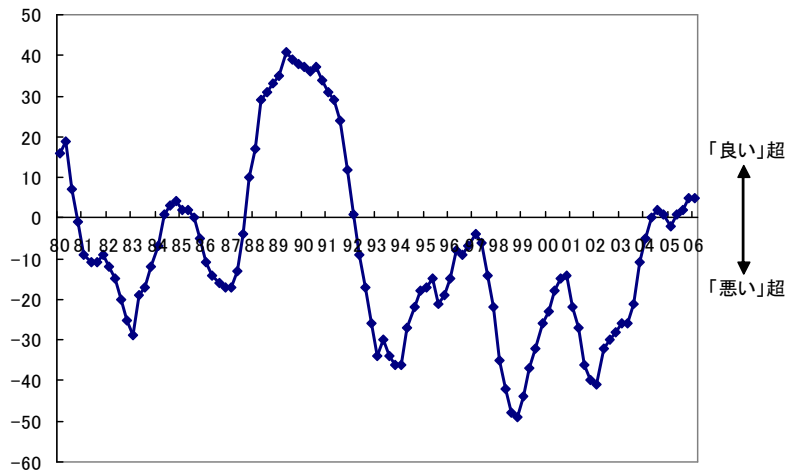
5

指数データの例 消費者物価指数、鉱工業生産指数



6

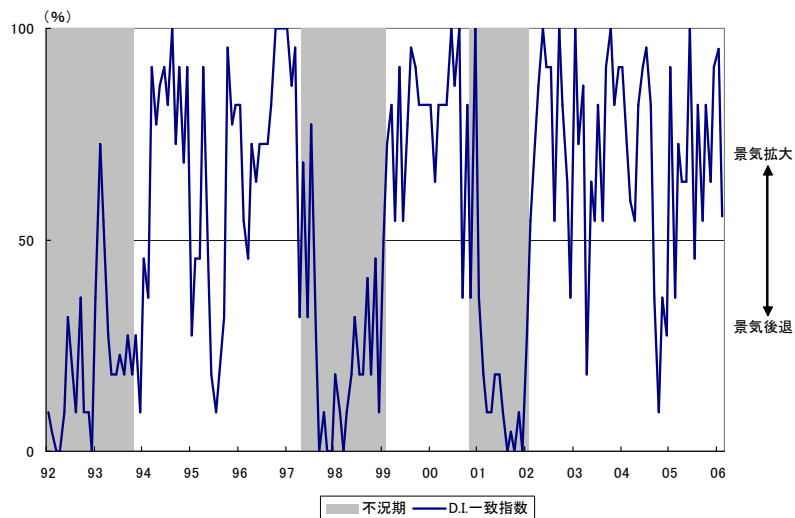
質的データの例① 日銀短観 業況判断DI



(注)「良い」と応えた企業割合が「悪い」と応えた企業割合をどれだけ上回っているかを示す
「良い」「悪い」の程度は直接反映はされない

7

質的データの例② 景気動向指数DI(一致指数)

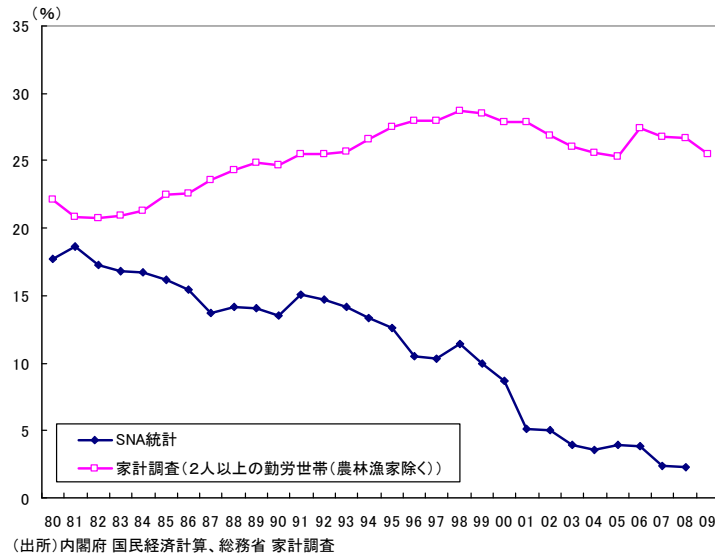


(注)景気に感応的な指標のうち、拡大している指標の割合を示す(拡大の程度は直接は反映されない)

8

統計のクセ

(例1) 貯蓄率: SNA統計 vs 家計調査 ①



9

統計のクセ

(例1) 貯蓄率: SNA統計 vs 家計調査 ②

乖離の要因

■ サンプル・バイアス

- 家計調査はサラリーマン世帯のみ(無職、自営業含まず)・・・特に高齢無職世帯の影響?
※ 無職・自営業は収入のデータ無し(消費データのみ有り)

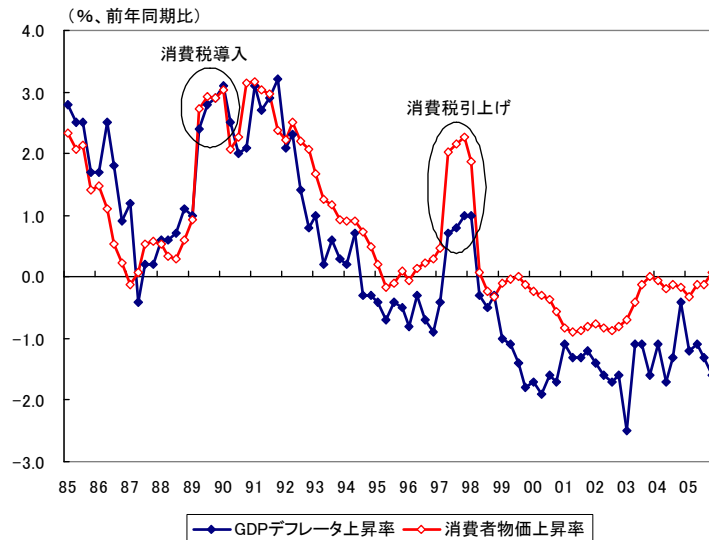
■ 帰属家賃の扱い

- SNAでは、持ち家の場合も、仮想的な家賃(帰属家賃)の支払いを計上
- 家計調査では計上せず

10

統計のクセ

(例2) GDPデフレーター vs 消費者物価指数 ①



11

統計のクセ

(例2) GDPデフレーター vs 消費者物価指数 ②

乖離の要因

■ 企業の投資財価格の動向

- 企業の投資財価格、特にPC等の下落が大
- 消費者物価は投資財価格の動向を反映せず

■ 消費者物価指数の上方バイアス

- 品質向上の考慮が十分でない
- 新製品の指数への導入が遅い
- ディスカウント・ショップ等が含まれない

※ 統計の改革により最近ではバイアスは縮小?

12